

一般社団法人 日本時計学会
平成23年(2011年)度 事業報告書
(自 平成23年2月1日～至 平成23年12月31日)

I. 事業の状況

1. 学術講演会, 研究会, 見学会等の開催

[I] マイクロメカトロニクス学術講演会

日時 : 平成23年 9月 2日 (金)
会場 : 中央大学理工学部 (後楽園キャンパス)
講演発表 : 12件
特別講演 : 1件
参加者 : 69名

[2] 研究会

① 春季研究会 :

日時 : 平成23年 4月22日 (金)
会場 : 中央大学理工学部2号館 2526号室
テーマ : 蛍光表示管の最新技術動向
講師 : 双葉電子工業株式会社 岡本 喜成 氏
参加者 : 19名

② 秋季研究会

日時 : 平成23年11月11日 (金)
会場 : 中央大学理工学部 新2号館 2735号室
テーマ : 省スペース実装装置技術の進化と今後の展望
講師 : 大日本印刷株式会社 笹岡 賢司 氏
参加者 : 17名

[3] 見学会

日時 : 平成23年 6月24日 (金)
見学先 : 独立行政法人 宇宙研究開発機構 相模原キャンパス
参加者 : 16名

2. 時計及び時計応用技術に関する研究調査分科会

平成23年度は次の3件で, 概要は以下の通りである.

(1) 名称: 「時計エネルギー研究調査分科会」(主査: 佐々木 健 東京大学教授・本学会理事)

本研究調査分科会は, 多機能化され, 高度な情報機器として位置づけられるようになってきた時計に要求される電源の新しい要求仕様を調査することを目的として設置されている. 平成23年度はこれまでにやってきた

- ① エナジーハーベスティング技術
- ② 電気二重層キャパシタ

に関する調査結果の整理作業を進めた.

(2) 名称: 「時計ものづくり研究調査分科会」

(主査: 木村 南 東京工業高等専門学校教授・本学会理事)

本研究調査分科会は平成20年9月に時計ものづくり技術に関する研究調査を行うことを目的に設置された.

時計に関するものづくり技術として、マイクロメカトロニクス誌 vol.42-1(1998)～vol.55-No.204(2011)までを調査し、時計ものづくりに関係する論文・解説57件を抽出した。

また東京高専が主催する匠講演会として、盛岡セイコー工業代表取締役前原芳文氏に平成23年1月25日に「世界に誇る「匠」の技 SEIKO 機械式腕時計」の講演をしていただいた。

水晶時計がマイクロメカトロニクスの原点ともいえるので、東京高専機械工学科5年生選択科目「機能材料」において主査の木村が水晶時計を例にした構造・材質に関する講義を行い、その後PCなど精密電子機器を分解し、構造・材質を分析調査した。

(3) 名称：「電波時計技術の歴史と動向に関する研究調査分科会」

(幹事：岩倉 良樹 シチズン時計株式会社・本学会理事)

電波時計が誕生してから四半世紀が経ち、製造会社は日本の時計メーカーが概ねであることから、電波時計の歴史と技術の動向をあらためて纏めることを目的に平成23年2月に設置提案された。その後会員の募集、調査開始の計画をしていたが、直後の大震災等の影響が思いのほか大きく、残念ながら本分科会の活動は大分遅れ、平成24年の活動に設定変更し12月に会員の募集を実施した状況である。

3. 学会誌、学術図書等の刊行

[1] 学会誌「マイクロメカトロニクス」を下記のとおり年2回発行した。

Vol.55, No.204：平成23年 6月, 300部

Vol.55, No.205：平成23年12月, 280部

[2] 講演論文集を年1回発行した。

秋季マイクロメカトロニクス学術講演会講演論文集：平成23年 9月, 200部

4. 研究の奨励及び研究業績の表彰

第45回青木賞選考は、マイクロメカトロニクス Vol.53, No.200-201 及び Vol.54, No.202-203 に掲載された研究論文7編に対して、選考委員7名による第一次審査と表彰委員5名による二次審査の二段階で行われた。

その結果、下記論文を第45回青木賞として推薦することで、表彰委員全員の賛同を得た。

第45回青木賞表彰論文：ひげぜんまいの重心移動の理論と実際－内端カーブの効果の最適化－
Vol.54, No.202(2010年6月)

執筆者：小牧 昭一郎

所属：ヒコ・みづのジュエリーカレッジ

推薦理由：本論文は理論と実験の双方から機械時計の精度の向上を試みており、時計を基軸とする本学会の学術論文として高く評価できる。

5. 内外関係機関等との交流及び協力

[外国機関]

米国：National Association of Watch and Clock Collectors Library, The Library of Congress,
英国：The British Library, The Institution of Electrical Engineers, ロシア：The Institute of Scientific & Technical Information (VINITI), ドイツ：Bibliothek der Technischen Hochschule und Technische Informationsbibliothek との機関誌等の交換を行なった。

[協賛]

研究会および学術講演会を、一般社団法人 日本機械学会、公益社団法人 精密工学会、公益社団法人 応用物理学会、一般社団法人 電子情報通信学会、社団法人 日本金属学会、一般社団法人 軽金属学会、公益社団法人 日本設計工学会等 関係学会などと協賛して実施した。

6. その他、学会の目的を達成する為に必要な事業
特に無し。

II. 処務の概要

1. 役員等に関する事項

一般社団法人 日本時計学会 役員名簿

平成23年12月31日現在

役職	氏名	常・非常勤	就任年月日	年間給与	担当	所属
代表理事	佐々木 健	非常勤	平成23年2月21日	無し	業務総括	東京大学大学院
業務執行理事	中島 悦郎	非常勤	平成23年2月21日	無し	代表理事補佐 経理・企画担当	カシオ計算機(株)
業務執行理事	竹中 雅人	非常勤	平成23年2月21日	無し	総務・企画担当	セイコーインスツル(株)
理事	吉村 靖夫	非常勤	平成23年2月21日	無し	顧問	
理事	窪田 勝	非常勤	平成23年2月21日	無し	企画担当	セイコーエプソン(株)
理事	足立 武彦	非常勤	平成23年2月21日	無し	編集担当	横浜国立大学
理事	岩倉 良樹	非常勤	平成23年2月21日	無し	企画委員長 広報委員長	シチズン時計(株)
理事	梅田 和昇	非常勤	平成23年2月21日	無し	事業担当	中央大学
理事	大隅 久	非常勤	平成23年2月21日	無し	事業委員長	中央大学
理事	大谷 親	非常勤	平成23年2月21日	無し	青木賞担当 事業担当	千葉工業大学
理事	木村 南	非常勤	平成23年2月21日	無し	企画担当	東京工業高等専門学校
理事	増田 純夫	非常勤	平成23年2月21日	無し	編集担当	横浜国立大学
理事	久保田 浩司	非常勤	平成23年2月21日	無し	顧問	
理事	檜林 達雄	非常勤	平成23年2月21日	無し	編集委員長	東海大学
監事	勢ノ 浩	非常勤	平成23年2月21日	無し		一般社団法人 日本時計協会
監事	日野須磨子	非常勤	平成23年2月21日	無し		国際時計通信社

2. 職員に関する事項

業務を担当する職員はいない。

3. 理事会及び総会に関する事項

[1] 理事会

開催年月日	主な議事事項	会議の結果
平成23年2月21日	出版編集 平成22年度収支決算及び事業報告 平成23年度1/1~1/31の事業及び予算計画 平成23年後1月度の事業及び決算報告 平成23年度2/1~12/31の事業及び予算計画 平成23年度の研究会と見学会の担当企業 理事交代 監事交代 研究調査分科会の新設 内部監査人の選任	承認 承認 修正・承認 修正・承認 修正・承認 承認 承認 承認 承認 承認

同	4月22日	出版編集 見学会実施計画 学会事務局担当理事の選任	承認 承認 承認
同	6月24日	出版編集 青木賞表彰方法の見直し マイクロメカトロニクス学術講演会実施計画 学会の近未来見通し 研究調査分科会 会員規定の改定	承認 審議・承認 審議・承認 継続審議 継続審議 継続審議
同	9月2日	出版編集 青木賞選考審査結果 秋季研究会実施計画 企画委員会検討経過報告	承認 承認 承認 継続審議
同	11月11日	出版編集 秋季研究会実施報告 学会の近未来見通し 企画委員会検討経過報告	承認 承認 継続審議 継続審議
同	12月16日	出版編集 学会の近未来見通し 企画委員会検討経過報告	承認 継続審議 継続審議

[2]総会

開催年月日	主な議事事項	会議の結果
平成23年2月21日	平成22年度収支決算及び事業報告・監査報告 平成23年度事業計画・予算計画	可決・承認 承認

4. 許可、認証、承認、証明などに関する事項

該当なし。

5. 契約に関する事項承認

契約年月日：平成23年4月1日

相手方：公益社団法人精密工学会

契約の概要：事務局として朝日九段マンション902号室の借用

6. 主務官庁指示に関する事項

該当なし

7. 会員数動向

会員種別	平成23年度末	平成22年度末	増減数
正会員	169 (名)	176 (名)	△7
賛助会員	20 (社)	20 (社)	0
学生会員	6 (名)	10 (名)	△4
計	195	206	△11

8. その他重要事項

該当なし